

どんぐりロールシャッハ特別セミナー(阪大法と馬場法の対話)のご案内

当オフィスでは力動的な継起分析(馬場,1995)の習得を目指してロールシャッハ法の継続研修を開いています。今回は講師に服部信太郎先生(岐阜病院)をお迎えし、阪大法と馬場法の対話をテーマとした特別セミナーを開きます。

阪大法は大阪大学医学部精神医学教室にて辻悟先生を中心に発展した技法で、形式・構造分析という手法を用いてロールシャッハデータを読み解いていきます。馬場法は馬場禮子先生による力動的な視点からのロールシャッハ解釈であり、被検者の自我機能のアセスメントが主眼となります。

阪大法では被検者の「個体化」の程度(心の成熟)に注目しますが、これは力動学派、馬場法での「自我」機能のアセスメントと重なる部分が多いようです。その反面、馬場法が反応間の継起に注目し、被検者の自我機能の揺れ動きや外界への適応を読み解くのに対して、阪大法では一つの反応が産出されるまでのプロセスを読み解くという違いもあります。このような学派間の異同はあるものの、阪大法の考え方は力動派に取り入れやすく、かつ、事例を奥深く理解する助けになってくれると思います。そして、阪大法は力動派だけに限らず、片口法や包括システムとの相性も良いように思います。

本セミナーでは、阪大法の視点から馬場先生の『改訂 境界例 ロールシャッハテストと心理療法』に登場する事例を読み解くこと、そして、片口法で実施されたロールシャッハデータを検討することを通して、阪大法と馬場法の対話を試みます。当日は、両学派による対話が事例の理解を豊かにし、興味深いディスカッションが交わされるものと思います。

関東ではなかなか触れる機会が得られない阪大法です。多くの方のお申込みをお待ちしております。

【講師】 服部信太郎先生(公益社団法人 岐阜病院)

【開催日時】 2025年3月23日(日) 9:30~15:30

【スケジュール】

9:30 開始

服部先生のご講義

阪大法の視点から、馬場禮子著『改訂 境界例 ロールシャッハテストと心理療法』の事例を読み解く

司会:伊藤和也(みとカウンセリングルームどんぐり)

11:00 馬場法との対話

指定討論:人見健太郎(みとカウンセリングルームどんぐり)

11:30~12:30 昼休憩

12:30~15:30 事例検討(医療機関勤務の心理職の方が片口法で施行した事例です)

15:30 終了

【会場】 ザ・ヒロサワ・シティ会館 集会室4号（〒310-0851 茨城県水戸市千波町東久保 697）

※ハイブリット開催

【受講料】 ¥6,600（2024年度どんぐりセミナー受講者は¥5,500）

【募集定員】 30名

【お申し込み方法】

itkazya@gmail.com までメールでお申し込みください。

件名を「どんぐりロールシャッハ特別セミナー申し込み」としてください。

下記の4点についてご回答ください。

お申込みの期限は2025年3月16日です。

①お名前

②ご所属

③お電話番号

④メールアドレス

⑤参加方法（対面参加、オンライン参加のいずれかを記載してください）

⑥2024年度どんぐりセミナー受講の有無

※オンライン希望の場合はオンラインに繋ぎやすいメールアドレスを記入してください。

※お申込みのメールをいただいた後に受講料お振込みのご案内を差し上げます。